

公明ひらつか



アフターコロナ・ウィズ
コロナへ向けた行政運営

秋澤 雅久 議員

行政運営について

問 新型コロナウイルス感染症第7波への備えや感染防止と社会経済活動の両立に向けた考え、感染拡大に

対する体制を伺う。

市長 7回にわたる緊急対策や総合対策を実施し、感染拡大防止と社会経済活動の両立に向けて、局面に応じた施策を展開してきた。

今後も医療救急体制の確保やワクチン接種を進め、第7波に備える。また、適切な感染防止対策を講じ、職員一人一人が積極的に業務を進めるように指示した。

これに合わせて、自治会や町内福祉村などの地域活動や新たな日常における経済活動の支援に取り組み、社会経済活動の再開を後押しして市民の元気と活力を奮い起こしていく。

問 今後の財政運営の方向性を伺う。

市長 必要な財源確保を行い、事業のスクラップアンドビルドや状況に応じた事業厳選など、あらゆる状況に適切に対応できる持続可能な財政運営に努めていく。

問 原油価格・物価高騰等対策事業の選定理由や効果、継続への考えを伺う。

市長 迅速かつ幅広く、そ

して切れ目なく取り組むことをポイントに、地域の実情に応じた支援策を取りまとめた。事業者の電気料金補助や小学校・保育所の給食材料費の補助などを通して、物価高騰の影響を受けて、市民や事業者の負担軽減を図る。今後も、国や県の動向を注視し、社会経済状況を見極め、補正予算を活用したきめ細かい施策を展開していく。

問 請負代金の変更に

関する規定であるスライド条項の運用と課題を伺う。

市長 賃金や物価の変動に伴い請負代金が不適当となつた場合は、スライド条項を適用し、国の通知や運用マニュアルなどを参考に

して適正な請負代金を確保している。また、事業者から請負代金の変更申出があつた場合も、速やかに協議を行い、状況などを確認して契約を変更している。事業者にスライド制度が十分に理解されていないことが課題だが、これまで以上に周知していく必要があると考える。

問 地域再生へ向けた本市の考えを伺う。

市長 各地域では、役員の担い手不足や高齢化に加え、コロナ禍で地域活動が停滞する中で地域コミュニ

ティが希薄化するなどの課題がある。地域活動の再開を後押しする地域活動再開円滑化交付金の交付や、持続可能な地域活動の仕組みづくりを、市民や市民活動団体とともに考える協働事業に取り組み、地域コミュニ

ティが希薄化するなどの課題がある。地域活動の再開を後押しする地域活動再開円滑化交付金の交付や、持続可能な地域活動の仕組みづくりを、市民や市民活動団体とともに考える協働事業に取り組み、地域コミュニ



一人一人に寄り添う、優しくて、持続可能なまち平塚を

石田 美雪 議員

問 がん対策について受診率向上に向けた集団検診の課題への取り組みを伺う。

健康・こども部長 委託事業者の都合で、1回の検診受入れ人数を増やせないことが受診率が上がらない要因の一つとなつているため、検診日の増設や個別検診受入れ機関の新規開拓などの検討やインターネット

予約の導入も一部の検診で検討し、利用者の利便性の向上を図る。

問 本市の乳がん検診の受診率は県内他市に比べ、かなり低い。県と連携して「乳がん検診向上モデル構築事業」を手掛ける一般社団法人乳がん予防医学推進協会から、さまざまな提案を受けたと思うが、新たな取り組みは行うのか。

健康・こども部長 プロサッカー選手や乳がん予防医学推進協会などの協力で6月18日に行われたレモン

ガススタジアム平塚でのJ

二テイの再生を推進していく。湘南海岸公園 龍城ヶ丘ゾーン整備 約5年にわたる中で、工事の進捗がない状況をどう受けとめているのか。

都市整備部長 事業の進捗が遅れていることについては大変申し訳なく思っています。ここでもまた1年9か月

リーグの試合で総合公園内にマンモグラフィ車を配置し若い世代に乳がん検診を体験してもらうことを目的に検診の普及啓発活動を行った。現在、関係機関と市内商業施設で同様の検診が行えないか協議を始めて

いる。

問 抗がん剤治療の副作用による脱毛に悩む患者が多いため、心のケアの意味でも医療用ウィッグは欠かせないアイテムだと思

う。購入費の助成はできないのか。

健康・こども部長 対象者や助成内容など課題も多いため、他市の動向を見ながら研究していきたい。

問 高村団地及び周辺地域における地域医療福祉拠点整備モデル地区構想について、南街区の工事着工時期を伺う。

福祉部長 福祉施設は令和5年2月、医療施設は5年6月の着工を目指し、一連

の延滞になるが、良い公園ができるように更なる検討を進めていきたい。

問 駐車場台数については、当初の目標である120台は確保できるのか。

都市整備部長 台数については、現在プランの見直しを図っており、その中で検討していきたい。

問 市民の多くが待ち望む公園である。今後、更なる

の手続きを進めていると事業者から聞いている。

問 旭地域は北の核ツインシティ、南の核中心市街地、西部地域のほぼ中間点に位置し、循環型交通を整備して、各地域を結ぶことで相乗効果が期待できると

思うが、見解を伺う。

福祉部長 循環型交通の整備はモデル地区構想のアンケートにおいて要望が多いことは承知しており、地域の実情などに応じた移動手段を検討する必要がある。旭地域においても、生活に必要な移動手段の確保について、地域と一緒に検討していく。

インターネット中継
本会議は、インターネットで生中継と録画中継を行っています。録画中継は発言日のおおむね1週間後から、会議録をホームページに掲載するまでの間、ご覧いただけます。

公明ひらつか 所属議員
上野 仁志 議員
鈴木 晴男 議員

延期はないという理解でよいのか。
都市整備部長 この1年9か月で整備まで、工事着手に向けてしっかりと努力していきたいと考えている。
このほかの質問 コロナ禍における糖尿病重症化予防 成年後見制度の利用促進について プラスチック資源循環と脱プラスチックについて

5月臨時会 審議の結果

令和4年5月17日に開催された5月臨時会では、市長提出議案が2件提出されました。

一般会計では、年度末に至って収入及び事業費の確定などに伴う補正や介護老人福祉施設整備費等助成事業など7件の事業が、令和3年度内に終了しない見込みであることから、繰越しの設定を行い、合計10億1866万円の補正予算が専決処分され、議会の承認が求められました。

また、特別会計では、年度末に至って収入及び事業費の確定見込みに伴う補正を行い、合計1億2910万円の補正予算が専決処分され、議会の承認が求められました。

採決の結果、全員異議なく承認しました。

なお、5月臨時会から無所属議員2名が湘南フォーラムへ会派変更を行い、湘南フォーラムの所属議員が5名となりました。

市長提出議案

Table with 3 columns: 議案番号, 件名, 結果. Contains items 34 and 35 regarding budget adjustments.

報告

Table with 2 columns: 報告番号, 件名. Contains item 2 regarding budget adjustment report.